

平成27年度 長野県須坂商業高等学校 学校評価表 (年度末評価まとめ)

A 十分 B おおむね十分 C やや不十分 D 不十分

学校教育目標	you	総合評価 (%)				成果と課題、改善策・向上策
		A	B	C	D	
○希望に満ちた積極的な人間の形成を目指す。	1. 地域から信頼される学校づくりを推進する。 2. 生徒の主体的な学習活動を推進する。	14.8	85.2	0.0	0.0	・須坂創成高校須商キャンパスの開校により、期待と不安を抱きつつスタートしたが、生徒間では大きな違和感はなく、1年間を落ち着いた学校生活を送ることができたことは大きな成果であった。しかしながら、年次統合で2つのキャンパスに行われていることなどまだまだ課題が多いのが現状である。学校評価表も2つという事で、成果と課題の集約はこちらに一化してまとめた。今年の反省をふまえて、来年度は須坂商業の開校と須商の伝統を継承して創成2年目に向けて取り組みたい。
○何ごとともやり抜く気力・体力を養う。	3. 生徒の職業意識を高め、キャリア教育の充実を図る。					
	今年度の重点目標	評価 (%)				成果と課題、改善策・向上策
		A	B	C	D	
○豊かな品位ある誠実な人格を養う。	○自己有用感をもち、主体的に社会に参加しようとする姿勢を育成する。(中長期目標123に対応)	20.0	80.0	0.0	0.0	・生徒は前向きに学校生活を送っており、須商と創成と本校で学ぶ事に自信を持つことができ、お互いに良い刺激に得ているように思われる。 ・今後さらに学習に対して前向きに取り組めるよう期待したい。 ・他学科の行事への参加を「産業基礎」の授業の中に位置づける等で学校生活全体として統一ある指導体制ができ、総合技術高校としてのキャリア教育をさらに推進できるのではないかと。 ・2年生ではMOS(パワーポイント)試験の全員合格の快挙や高度資格取得の意識も向上しつつあり、今後も継続していきたい。 ・創成の農・工の生徒も加わる須商・創成マーケット2015の実施は残された課題も多いが、新しい総合技術高校の取組みとして大きな意義のあるものであり、須商のマーケット役員の頑張りを称えるとともにさらに工夫して須商の伝統行事を継承していきたい。 ・キャンパスが別という事がネックになり、完全統合までは課題も多岐に検討・工夫が必要である。 ・3学科共通の大規模行事は学科ごとの従来の考え方・やり方があるので、今後さらに職員の意識統一やすりあわせをはかり、十分に準備して生徒が頑張れる時間と場所と機会を確保していきたい。
	○自分を大切にするとともに、他者を思いやることのできる人権意識を涵養する。(同じく1に対応)	26.7	70.0	3.3	0.0	
	○生徒の希望する進路実現につながるキャリア教育の推進を図る。(同じく23に対応)	43.3	56.7	0.0	0.0	
	○基礎学力の定着と高度資格取得等を目ざすことにより、学力の向上を図る。(同じく3に対応)	16.7	76.7	6.7	0.0	
	○須坂商業の伝統を須坂創成に継承し、地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。(同じく1に対応)	30.0	66.7	3.3	0.0	

領域	対象	評価項目	評価の観点	評価 (%)				成果と課題、改善策・向上策
				A	B	C	D	
教	学習指導	○基礎学力の充実	・一人ひとりの生徒に対してゆきとどいた学習指導がなされているか。	21.2	75.8	3.0	0.0	授業アンケートを年2回とりながら、生徒の意見や気持ちを組み込みながら生徒一人一人に応じた学習指導がなされた。理解不足の生徒には時間外の補習で対応してきめ細かい指導を心がけた。家庭学習の時間を持つための取組みは昨年来の大きな課題でまだまだ不十分であったが、年2回の生活実態調査など活かし生徒に資格取得など目標を明確にさせながら、今後も検討していきたい。 ・検定カレンダーの作成、考査範囲のフンポイントアドバイスは一昨年から引き続き実施し、生徒が検定や試験勉強に取り組みやすい環境づくりができた。 ・1年生で始まった「ビジネス英語」ではタブレットや電子黒板などのICT機器を常時利用する先進的な取組みが実践され、公開授業やモデル校の報告書でも一定の成果を上げる事ができた。さらに、2年・3年と「ビジネス英語」の授業内容の充実が求められるが、検討・研究を深めていきたい。 ・最終学年の課題研究発表会や進路実現に向けてプレゼンの機会をさらに増やし言語活動や情報発信力の向上が課題である。
			・学習内容の改善、工夫がなされているか。	27.3	66.7	6.1	0.0	
			・学力補充が計画され、実施されているか。	21.2	75.8	3.0	0.0	
			・家庭学習の時間をもつための取り組みができたか。	3.0	39.4	57.6	0.0	
		○検定前学習の充実	・検定学習をするための組織的、計画的な環境作りができたか。	63.6	33.3	0.0	3.0	
		○須商マーケットでの実習販売	・商業の授業として体系的な取り組みができてきているか。	45.5	54.5	0.0	0.0	
育		○生徒に合ったコース制の選択	・生徒個人の将来設計に見合ったコース選択がなされたか。	30.3	66.7	3.0	0.0	

活動	生徒指導・教育相談	○生活指導の取り組み	・ 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上に取り組めたか。	33.3	60.6	6.1	0.0	<p>・ 昨年度から生徒指導係が生徒昇降口に立ち指導を続けて、朝の挨拶、身だしなみのチェックを続けた結果、登校時の挨拶、身だしなみについては昨年度以上の改善がみられた。遅刻についても、少数の遅刻者になり大きく改善されている。また、遅刻減少に伴い、基本的な生活習慣が樹立されたためか、本年度の生徒指導上の問題行動は激減した。</p> <p>・ 携帯電話の指導など創成高校1年生と須坂商業2・3年生が異なる指導となっていることは、来年度もう一年間指導のすり合わせが必要であるが、検討したい。</p> <p>・ 全職員による巡視、立ち番を本年度も継続的に行うことができ、問題行動の要因となりそうな事案やサインを見落とさないことや現金盗難、外部からの侵入を未然に防ぐことができた。</p> <p>・ 来年の須坂商業高校の開校にあたり、「須坂商業高校は非常によい高校であった」と地元の方々におっしゃっていただけるように、有終の美を飾ろうと年度当初の集会で生徒に投げかけ、協力を求めてきた。問題行動や外部からの苦情電話が減少傾向になっていることを考えると少しずつ生徒自身が注意する方向に変化してきていると思われ、来年度に引き継ぎたい。</p> <p>・ 教育相談の必要な生徒に対してHR担任、教育相談担当、スクールカウンセラー、家庭と連携をとりながら柔軟に対応してきた。年度後半に事例がやや増加したが、来年度も引き続き対応していきたい。</p>
			・ 校則を守った身だしなみ指導ができたか。	36.4	54.5	9.1	0.0	
			・ 日常的・継続的な指導が学校全体で行われたか。	51.5	48.5	0.0	0.0	
		○校内外の巡視	・ 校舎内外の見回りが行われたか。	63.6	33.3	0.0	3.0	
			・ 地域の方の意見・要望に応えられる生徒育成に力を尽くすことができたか。	30.3	66.7	0.0	3.0	
		○教育相談	・ 人間関係がうまく築けない生徒に対して、適切な助言ができたか。	15.2	84.8	0.0	0.0	
			・ 校内の教育相談体制がうまく機能したか。	18.2	78.8	0.0	3.0	
			・ 特別支援教育の理解を深める研修ができ、情報を共有し適切な対応ができたか。	24.2	69.7	3.0	3.0	
			・ いじめにつながる行為を見逃さないなど、いじめの未然防止に努めることができたか。	21.2	75.8	3.0	0.0	
			・ 必要な外部機関との連携をはかりながら、問題を解決できたか。	24.2	75.8	0.0	0.0	
		○家庭との連携	・ 反省指導等で保護者との連絡・協力がなされたか。	36.4	63.6	0.0	0.0	
			・ 教育相談の中で保護者の意向を聞き取った上での取り組みができたか。	27.3	69.7	0.0	3.0	
教育活動	進路指導	○進路指導体制の充実	・ 係、学年、教科で緊密な連携がとれ、学校全体で生徒の希望に合わせた進路指導が行われたか。	51.6	45.2	0.0	3.2	<p>・ 進路通信「言わざ」を定期的発行し、生徒・保護者にとって必要な情報をタイムリーに提供できた。</p> <p>・ 就職は希望者全員が内定し、進学でも大学希望が増え、全員進学先が決定できた。</p> <p>・ 夏休み中を中心にインターンシップを実施、将来を見据えたキャリア教育の推進をすすめることができた。インターンシップの希望者数の増加が課題である。</p> <p>・ 様々な機会を通じてさらに企業開拓をすすめたい。</p>
		○進路情報の提供	・ 進路情報の収集・提供が適切になされ、生徒の進路意識を高めることができたか。	48.4	48.4	0.0	3.2	
		○キャリア教育の充実	・ 将来を見据えたキャリア教育の推進とインターンシップを積極的に推し進められたか。	25.8	67.7	3.2	3.2	
		○就職先の確保	・ 地元企業との連携を図り、生徒の就職先の確保に努めたか。	48.4	48.4	0.0	3.2	
学	地域との連携	○公開授業の充実	・ 公開範囲の拡大、来校者の本校に対するイメージアップにつながったか。	22.6	71.0	3.2	3.2	<p>・ 公開授業は11月が創成の学校説明会に変わったことから年1回となったが、秋に中学生の学校見学希望もあり、検討課題である。</p> <p>・ 須坂創成高校の体験入学として、28日商業科、29日農業科・工業科の連日開催とし、一体感を示すことができた。両日参加の生徒にも対応できた。生徒・保護者のアンケート結果から、須坂創成高校に興味関心があり、体験授業が良い機会と感じた生徒が多かった。</p> <p>・ 「須商Now」は内容が一押し、年間発行数も60号と増加しタイムリーに学校生活の情報をわかりやすく発信できて好評であった。</p> <p>・ 「くますぎクラブ」は地域との交流として引き続き活躍し、夏には伊藤忠食品主催の「フードグランプリ」全国大会に出場し、更に活動の場が広がった。今後「くますぎクラブ」以外の連携も期待したい。</p>
		○中学生体験入学の充実	・ 新校への入学を希望する中学生を広く集め、新校に対する理解を深めることができたか。	32.3	64.5	0.0	3.2	
		○学校評議員会の充実	・ 学校の教育活動を十分に説明することができたか。	35.5	61.3	0.0	3.2	
			・ 意見要望に対して改善するように取り組めたか。	38.7	58.1	0.0	3.2	
		○学校ホームページの充実	・ タイムリーな情報発信ができたか。	58.1	38.7	0.0	3.2	
		○生徒の校外活動の充実	・ 地域との連携による生徒の自主活動ができたか。	19.4	77.4	0.0	3.2	
校	と保護者	○学年・学級PTAの活性化	・ 生徒の学習、生活、進路について十分な論議がなされたか。	22.6	64.5	9.7	3.2	<p>年2回の保護者懇談会を活用し生徒の卒業後の進路や学習、生活について話す貴重な機会となっている。</p> <p>・ ミッタシステムを導入し、登録率が90%をこえ、メール連絡網のシステムが整備され、緊急時の連絡などで効果があった。</p> <p>・ PTAレクリエーションとして全校でのソフトバレーボール大会やその後の懇親会、学級での懇談会を通じて出席していただける保護者の方とは十分に親睦が図れた。</p>
			・ 学校と家庭との連携がうまくなされたか。	29.0	67.7	0.0	3.2	
		○PTA行事の充実	・ 行事を充実させ、学校と家庭との親睦を図ることができたか。	38.7	58.1	0.0	3.2	
営	生徒会	○生徒会活動の活性化	・ 生徒の主体的な活動を推進できたか。	22.6	67.7	6.5	3.2	<p>・ 創成1年生のことを考えながら、須商祭や3年生を送る会など生徒が主体的に企画運営をし、その活動を推進できた。</p> <p>・ 卓球部が創成チームとして団体・個人で全国大会にすむ快挙があったとともにクラブ活動が創成合同チームとなり、当初はとまどいもあって大変だったが、今後の活躍が期待される。</p> <p>・ 運動部だけでなく、簿記・ワープロ・くますぎクラブの全国大会出場と文化系クラブでも成果が上がった。</p> <p>・ クラブ活動は、学科ごとに日程が違う時があって、練習の時間が合わないなど課題もあり、検討が必要である。</p>
			・ 委員会活動を計画通りに行えたか。	22.6	74.2	0.0	3.2	
			・ 部の活動が活発に行われたか。	35.5	58.1	3.2	3.2	
			・ 生徒会予算を請求通りに有効に執行できたか。	38.7	54.8	3.2	3.2	